

ペット-CT (PET-CT) 検査のご案内

1. ペット (PET) 検査とは？

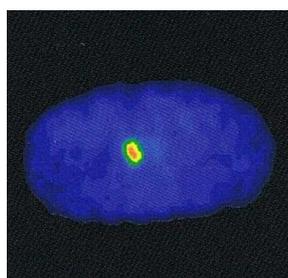
ペット (PET) 検査とは、**がんの早期発見**・病期診断・再発診断等を目的とした検査法で、**一度の検査で全身の精査が可能です**。がん細胞に多く取り込まれる薬剤を体内に投与し、薬剤が体内の腫瘍に集まる様子を撮像することで悪性腫瘍 (がん) などの診断を行います。

2. ペット-CT (PET-CT)装置について

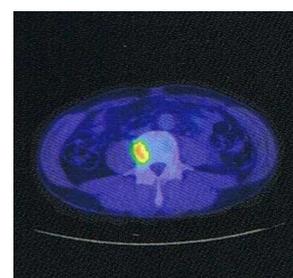
当院に導入されたPET-CT装置は、PETとCTによる2つの画像を一度の検査で撮像できる最新鋭医療機器です。これにより、PET画像とCT画像を正確に重ね合わせ、病気の有無・位置・大きさなどを一回の全身精査で見つけることができます。



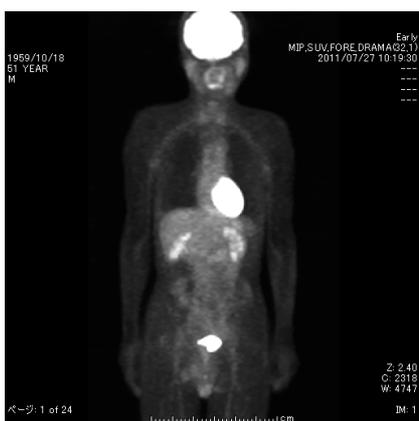
CT 画像



ペット (PET) 画像



重ね合わせ (PET-CT)



MIP 画像



PET+CT 重ね合わせ

3. ペット (PET) 検査の安全性について

検査薬剤による副作用の心配はありません。検査薬剤は放射性医薬品のため、放射線による被曝が少しありますが、その被曝量は胃のX線検査や人が1年間に自然界から受ける放射線量と同程度であり、健康に影響はありません。また、放射線の量は約2時間ごとに半減し尿として速やかに排泄されます。翌日にはほとんど体内には残りません。

4. ペット (PET) 検査の限界について

PET検査は、がんの発見に非常に優れた検査ですが、1 cm 以下のがんや一部のがんは発見しにくい場合があります。

ペット (PET) 検査が得意ながんの例

- ・肺がん ・乳がん ・大腸がん ・悪性黒色腫 ・頭頸部がん ・転移性脳腫瘍 ・膵がん ・食道がん
- ・悪性リンパ腫 ・転移性肝がん ・子宮、卵巣がん など

ペット (PET) 検査が比較的不得意ながんの例

- ・脳腫瘍 ・胃の早期がん ・尿路系の腫瘍 (腎・膀胱・前立腺がん) ・原発性肝がん など

5. ペット（PET）検査実施手順及び食事制限

PET検査は、注射から検査終了まで、おおむね**3～4時間**かかります。

当院では基本的に、全ての方に2回目の撮影までを行なわせていただいているため、検査開始から終了まで、約3～4時間かかります。

2回目の撮影をするのは、より正確な画像診断をするためです。2回撮影をすることによって病気の有無・病変の良悪鑑別など、より高い診断精度が得られます。

<検査手順>

- ① **絶食**：検査前5時間は絶食です。 ② **注射**：検査薬剤を注射します。 ③ **安静**：約1時間安静にします。
④ **撮像**：全身の撮像をします。(約30分) ⑤ **安静→撮像**：撮像後1時間休憩をとり、もう一度撮像します。
(2回目の撮像をしない場合もあります)

6. ペット（PET）検査保険適応疾患について

平成22年度より、**保険適用が拡大され、全ての悪性腫瘍(がん)で使える（早期胃がんを除く）**ようになりました。ご不明な点がございましたら、お気軽に医師又はスタッフにご相談ください。

7. 検査をお受けにあたっての注意について

- ①糖尿病で治療中の方は、当日検査前にインスリン注射・糖尿病経口薬の服用が出来ません。事前に主治医とご相談ください。
- ②妊娠中、又はその疑いのある方は原則として検査はできません。授乳中の方は、検査当日の授乳を控えていただきます。
- ③PET検査は、高価な薬剤を検査日・時間に合わせて取り寄せ、使用いたします。この薬剤は、短時間にて使用不可能になってしまいます。キャンセルの場合は、検査の2日前までにご連絡ください。

8. 検査お申し込みの方法

当院を受診していただき、医師にご相談ください。

がん検診も行っております。がん検診のお申し込みは医事課又は放射線科で承っております。詳しくは、スタッフまでお尋ねください。

保険適応・がん検診、共にお申し込み時には申込手続金が必要です。

(申込金は、検査費用に充当いたします。)